

# 徒然なる日記121023～急ぐこと～

E-book推進協会

## 急ぐこと

---

自分はせっかちだと思う。段取りが悪いから、その分ほかのところで取り返したいと自然と早歩きになる。食べるのも早くなった。よく嘔まなきゃいけないが。太るから。

ただ、急ぐこと自体は悪くないだろう。人生には限りがある。常に老いとの戦いだ。老いてしまえば今あるような健康な体ではいられず、できることも制限される。その分、若いうちに本気出して、死力尽くして生きたい。だからあえて飛び込んだ過酷な業界でもある。今は修業のときだ。行き急いでいるかもしれないが、苦労は若いうち買ってでもしよう。

そういえば、車の運転も速いほうだ。運転は自分の性格が表れるとよくいうが、自分は運転になると自信過剰なところがあってやや危うい。自覚している。たぶん車は自分の弱い部分をパワーアップさせてくれる、見せ掛けの鎧みたいなもんならだろう。

少し話が逸れたが、車の運転の話に戻すと、自分は前を走る車をすいすい抜いていく。1時間運転すればそうやって抜いたとしてもせいぜい5分くらいしか短縮できないのに。そう思うとばかばかしい気もするが、そう思いつつもつい急ぐ。

勇む心を抑えようと妻に「安全運転」と手書きしてもらったお守りを助手席に置いている。それを見るたび、「平常心、平常心、あせるな、あせるな」と心の中でつぶやく。結局、運転で追い抜いて得られる5分、10分というチリツモ的な時間より、他のところ、たとえば睡眠とかで朝の2度寝、3度寝をやめたほうがよっぽど時間を得られる。

と、思いながらもなかなか朝起きられない、寒い季節になってきた。明日の朝の最低気温は3℃だって。ひええ。こたつをそろそろ出そうかな。

2012年10月23日記す